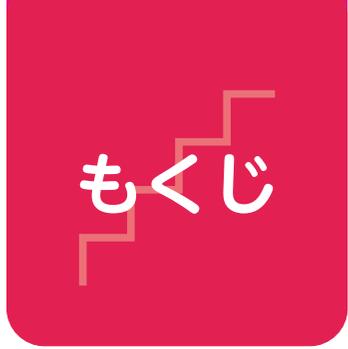


はじめに



日本の大学に入学するには、日本語の会話の力も大事ですが、**日本語の文章を書く力も大事**です。文章を書くということは、論理的に物事を考え、自分で判断し、自分の意見を持つことにつながります。現在の日本の大学では、自分で考え、判断し、自分の意見を発信することが重視されるようになってきています。文章を書くことは大学での学びの基礎になるものです。

この本では、日本の大学に留学したいと思っている人のために、①日本留学試験（EJU）の記述問題、②大学学部別の留学生向け入学試験の小論文問題について、過去に出題された問題を取り上げながら、どのような構成で書けばよいのか、どのような内容を書けばよいのか、どのような問題が出題されるのか、どのように評価されるのかなど、できるだけ詳しく説明しています。

この本の構成は、以下の通りです。

本冊：参考書	別冊：過去問題集
第1章：記述文・小論文を書く前に	練習問題の答え
第2章：記述問題	日本留学試験の記述問題 9問
第3章：基本的な小論文問題	大学学部別の小論文問題
第4章：課題文付き小論文問題	・基本的な小論文問題 3問
第5章：合格する小論文を書くために	・私的な内容を問う小論文問題 1問
	・課題文付き小論文問題 2問
	・グラフ・表付き小論文問題 1問

本冊では、記述文・小論文を書くときの基本的な型、論を深める方法、よく出るテーマや基礎知識などまで知ることができます。別冊では、本冊で取り上げた過去問題を集めました。アイデアメモ（構成メモ）を使って考えを整理し、実際の試験を受けるつもりで取り組んでください。

学習の進め方ですが、まず、本冊の第1章を読みます。その後の進め方はいろいろ考えられます。本冊を読んでから別冊に取り組む、本冊を読みながら別冊にも取り組む、別冊に取り組みながら本冊も読むなど、状況に応じて自分なりの使い方を見つけてください。

はじめに 2

第1章 記述文・小論文を書く前に 5

STEP 1 よい記述文・小論文とは？ 6

STEP 2 記述文・小論文の型 10

STEP 3 型を選んで使いこなす 14

STEP 4 記述文・小論文を書くときの注意点 20

第2章 記述問題 29

STEP 1 日本留学試験「記述」とは？ 30

STEP 2 よい記述文とは？ 33

STEP 3 優れた記述文に改める 42

論を深める 47

STEP 4 **分野別に実戦練習!** 51

環境 52/ 食料 56/ 教育 60/ 異文化理解 64/ 経済 68/
情報 72/ 生活 76

2022年10月
樋口 裕一

第3章	基本的な小論文問題	81
STEP 1	大学学部別の小論文問題とは？	82
STEP 2	基本的な小論文の書き方	84
STEP 3	私的な内容を問う小論文の書き方	99
STEP 4	基本的な小論文問題の実戦練習！	104

第4章	課題文付き小論文問題	111
STEP 1	課題文の読み取り方	112
STEP 2	課題文付き小論文の書き方	116
STEP 3	説明問題・要約問題の書き方	123
STEP 4	グラフ・表付き小論文の書き方	129
STEP 5	課題文付き小論文問題の実戦練習！	140

こま	困ったときの対応	147
----	----------	-----

第5章	合格する小論文を書くために	153
STEP 1	受験生へのアドバイス	154
STEP 2	志望分野別のアドバイス	157
	法学系 158/ 経済学系 160/ 福祉学系 162/ 社会学系 164/ 人文学系 166/ 芸術学系 168/ 生活科学系 170/ 理工学系 172	
	おわりに	174

★別冊 (練習問題の答え / 過去問題 + アイデアメモ + 解答用紙)

第1章

記述文・小論文を書く前に



この章では、記述文や小論文を書く前に理解しておくべきことについて説明します。そもそも記述文・小論文とは何か。どのようなことを、どのような構成で書くべきなのか。記述文や小論文を書くときの注意点などについての理解を深めてもらいます。

STEP 1 よい記述文・小論文とは？
□よい記述文・小論文の4つの要素を知る

STEP 2 記述文・小論文の型
□記述文・小論文の2つの型を知る

STEP 3 型を選んで使いこなす
□型を選んで使いこなせるようになる

STEP 4 記述文・小論文を書くときの注意点
□正しい日本語で書くことを意識する
□原稿用紙の使い方をマスターする

よい記述文・小論文とは？



□ よい記述文・小論文の4つの要素を知る

日本のほとんどの大学学部では、外国人留学生のための入学試験が行われています。入学試験では、日本語で文章を書かせる試験があります。それが、日本留学試験の記述試験と、各大学学部で用意する小論文試験です。

①

日本留学試験

記述

②

大学入試

小論文

1 記述問題と小論文問題の共通点

日本留学試験の記述問題と、大学学部別の小論文問題。この2つはとても似ています。

小論文とは、「小さな・論じる・文章」です。「論じる」、つまり、ある事について分析し、それがよいかどうか意見を示し、その理由を論理的に説明します。

記述文も全く同じです。「作文」のように、自分の体験や感情だけを書くものではありません。

日本留学試験の記述文と大学学部別の小論文の違いは、以下の点です。

日本留学試験の記述文は、①比較的問題がやさしくて、②制限字数が少なく、③出題形式が単純です。大学学部別の小論文は、①大学のレベルに応じて難しい問題が出されたり、②文章を読んでそれについて論じるタイプの問題が出されたりすることが多いです。

しかし、基本的には同じような書き方でよいので、別の勉強をする必要はありません。つまり、日本留学試験の記述問題は大学入試の小論文問題のやさしい問題と考えてよいのです。はじめに記述文を勉強して小論文の基礎を学び、その後、しっかり小論文の勉強をすると、日本留学試験の記述試験と大学学部別の小論文試験の両方の勉強ができます。ですから、この本では最初に記述文問題の練習をして、その後、小論文問題の練習をしていきます。

では、実際に出題された問題を見てみましょう。(Q別冊p.8-p.9、p.29)

まず、日本留学試験の記述問題では、「例を挙げながら説明してください」「その問題を解決するためにどうすればよいか、あなたの考えを述べなさい」「よい点と問題点の両方に触れながら、あなたの考えを述べなさい」などの問題があります。ここで問われているのは、ほとんどが「2つの対立する事や意見を示し、それを理解したうえで、どちらの側に賛成するかを述べる」ことです。そのほか、現状を説明する問題もあります。

大学学部別の小論文問題についても、もっとも基本的な小論文問題は「～についてできるだけいろいろな視点からあなたの考えを述べてください」「体験や観察も踏まえ、具体例を挙げ、あなたの考えを反対論も考慮しつつ述べなさい」など、日本留学試験の記述問題と同じような問題です。

いずれも体験や感想だけを書くのではなく、自分がその問題をどうとらえているか、それについてどうあるべきだと考えているかを書くことが求められているのです。

2 よい記述文・小論文とは？

では、どのような文章が、よい記述文、よい小論文なのでしょう。
記述文も小論文も、評価のされ方は同じです。これには4つの要素があると考えてよいでしょう。

a. 正しい日本語で書かれている

特に日本留学試験では、正しい日本語で書かれていることが何よりも大事です。
文法的に正しくて、的確な言葉を使って、わかりやすい日本語で書かれていなければ、優れた記述文・小論文とはいえません。また、原稿用紙も正しく使い、漢字もきちんと書かれている必要があります。できれば字も、丁寧できれいなほうが、評価が高くなります。

(Q 第1章STEP 4：記述文・小論文を書くときの注意点)

b. 論理的に書かれている

読んでいる人にわかるように論理的に書かれていることも大事です。途中で話がずれたり、途中で話がおかしくなったり、いくつものことを書いていたのでは、読んでいる人に何がしたいのか伝わりません。それでは優れた小論文とはいえません。
論理的に書くには、「型」を重視してください。そうすることによって、読んでいる人に伝わる文章が書けるようになります。

(Q 第1章STEP 2：記述文・小論文の型 / 第1章STEP 3：型を選んで使いこなす)

c. 正確な知識をもとに考えている

正しい日本語と論理的な文章は、よい小論文を書くための条件です。これらのことができていたうえで、内容もよい小論文が優れた小論文といえます。
書かれている内容は、世界や日本の状況についてきちんとした知識があり、しっかりした判断がされていることが重視されます。国際社会や日本社会の状況について間違った知識を持っていたり、思い込みがあったりすると、高い評価は得られません。それらについて知識を持っており、しっかりとした判断をしていることが求められます。

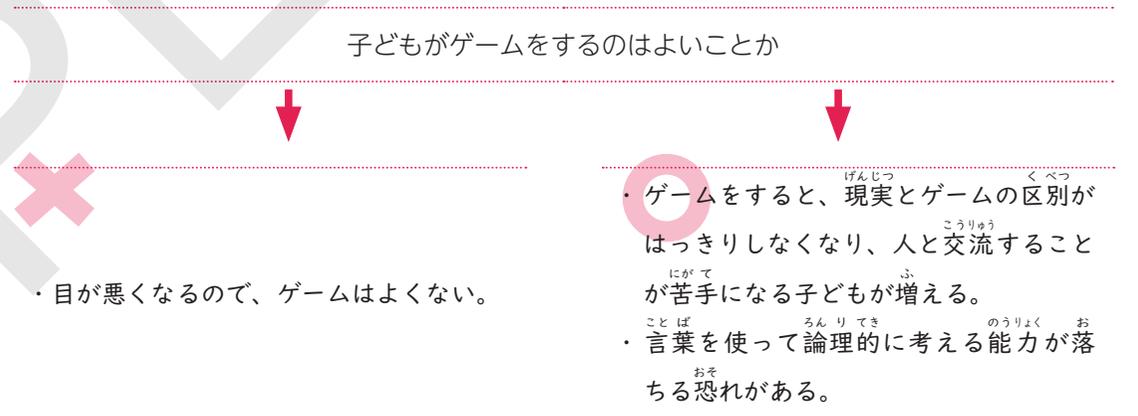
(Q 第2章STEP 4：分野別に実戦練習！ / 第5章STEP 2：志望分野別のアドバイス)

d. 頭の高さや大学で学ぶだけの力があるかが示されている

記述文や小論文を書くにあたって、もう1つ大事なことがあります。それは、記述文・小論文は、頭の高さを見せて、大学で学ぶだけの力があることをアピールするためのものです。
記述文や小論文の問題は、2つの考え方のうちのどちらに賛成かといったことが問われること

が多くあります。ほとんどの場合、どちらに賛成してもかまいません。どちらの立場であっても、しっかりそのように考える理由(根拠)を書いていけば、高い点が取れます。その場合、ふだん自分がどのように考えているかということよりも、どちらの立場のほうが「頭がよい」と思われるか、どちらが志望学部・学科にふさわしいと判断されるかを考えるべきです。ふだん、賛成意見を持っていても、反対意見にしっかりとした根拠やその学部・学科の考え方にふさわしい根拠を思いついたら、反対意見を書くべきです。また、根拠にあたりまえのことを書いたのでは、頭の高さをアピールできません。できるだけほかの人が気づかないようなことを書きます。目には見えない人間の精神や社会の深いところにある事について書くほうが、ずっと頭の高さをアピールでき、高い点が取れるのです。

どう書いたら、頭の高さを示すことができるのか、志望学部に入學するだけの力があると思ってもらえるかを考えて、記述文や小論文を書くことをすすめます。



STEP
2きじゆつぶん しょうろんぶん かた
記述文・小論文の型

□ 記述文・小論文の2つの型を知る

では、自分の考えを論理的にしっかりと書くにはどうすればよいのでしょうか。いちばん簡単なのは、「型」を利用することです。

「型」というのは、論理的に考えるための構成のことです。「型」どおりに書く練習をしておいて、本番でもその型を使って書けば、いつでも論理的な文章を書くことができます。次の2つの型を使えるようにしておけば、どのような文章でも書けるはずですよ。では、どのように書くのか例を示しながら説明しましょう。

例題①

多くの国で、動物園は人気があります。しかし、動物園には良い点がある一方で、問題となる点もあるようです。

動物園について、良い点と問題点の両方に触れながら、あなたの考えを述べなさい。

(2018年 第2回)

に がた
二型にぶこうせい かた
二部構成の型のことです。

ことばリスト



1	・自分の意見 せつめい ・説明のまとめ
2	くわしい説明 せつめい

400字以内の短い字数で意見を書く場合に使いやすい型です。また、意見でなく説明を書く場合にもこの型が使えます。

例 1

1 動物園は娯楽と教育のための大事な場であると考える。

2 動物園があるから、子どもたちは人間とは違う動物がいることを知る。絵本でしか見たことのない動物を見て、素直な驚きを感じる。キリンを見て、その首の長さに驚き、ライオンを見て、その強そうな体に驚く。パンダを見て、そのかわいらしさを知る。触れ合いのできる動物園も多い。動物と触れ合うことで、生命の大事さを知ることができる。自然を守ることの大事さも知ることができる。このようにして、子どもは人間と動物の関係の深さを知り、ともに生きることの大事さを知るのである。動物園がなくなったら、子どもが人間以外の生物に出会う機会がなくなり、都市に暮らす人は人工的なものに囲まれて生きることになるのである。

例 2

1 動物園は好ましくないで、やめるべきだと考える。

2 動物園は狭いところに動物を閉じ込めて、展示しているだけだ。これは虐待といえる。動物は自然の中で生活しているのが大事なことだ。それなのに、閉じ込められ、えさを人間に与えられて、動物たちは本来の姿を失って苦しんでいると思われる。それに、そもそも動物園というところは、動物を見て動物の生活の様子を知るところだが、閉じ込められている動物を見ても、本当の動物を知ることにはできない。自然の中でえさを見つけて食べたり、危険から逃げたりする動物を見なければ意味がない。動物園は動物にとっては虐待で、人間にとっても学びにならないものである。





よんがた 四型

よんぶこうせい かな
四部構成の型のことです。



ことばリスト

1	問題提起
2	意見提示
3	展開 (根拠・理由・背景・対策)
4	結論

400字以上の字数で意見を書く場合に使いやすい型です。賛成か反対か、よいか悪いか、イエスカノーかなどの判断が求められるような場合には、この型が使えます。大学学部別的小論文問題の場合、ほとんどこの型で書くことができます。



1	何について書こうとしているかを示します。 課題文が示されて、それについて論じる場合は、ここで課題文の主張をまとめます。
2	この部分で、第1部 1 で示したことに賛成・反対のどちらの立場をとるかをはっきりさせます。ここは、「確かに、～。しかし、～」という表現を使うと、書きやすくなります。「確かに、～」で予想される反対意見を説明したうえで、「しかし、～」で自分の意見をいいます。そうすることで、「ちゃんと反対意見を考えたうえで判断していますよ」とアピールできます。反対意見を理解したうえで自分の意見を書くので、考えが深まりますし、字数を増やすこともできます。
3	この部分で、そのように考える理由を説明します。ここは二型の第2部にあたります。記述文・小論文でいちばん大事なのは、この部分です。この部分がしっかりと説明できているかどうかで、その小論文の価値が決まります。そのように考える理由(根拠)を示した後、どうすればよくできるかの対策を書くこともできます。
4	第1部 1 に書いた問題提起に対して、きちんと答えます。「以上述べた通り」「したがって」などの表現を使うと、うまくまとまります。

例

1 「動物園」というテーマの場合、ここで、「動物園が問題になっているが、よいところなのか。これからも残すべきだろうか」などと書く。
動物園は現在問題になっている。では、動物園はよいところであって、これからも残すべきだろうか。それとも、なくすべきだろうか。

2 「動物園はよくない」と書きたいときには、「確かに、動物園にはAのようなよい面がある。しかし、動物園はよくない」とする。逆に、「動物園はよい」といいたければ、「確かに、動物園にはBのようなよくない面がある。しかし、全体的には動物園はよい」のように書く。
確かに、動物園は狭いところに動物を閉じ込めて、展示しているという面がある。これは虐待といえる。動物は自然の中で生活しているのが大事なことだ。それなのに、閉じ込められ、えさを人間に与えられて、動物たちは本来の姿を失って苦しんでいると思われる。したがって、その点は改めるべきだと考える。しかし、動物園はとてもよいものなので、これからも残すべきである。

3 第2部 2 で「動物園はよい」という立場であれば、そのように考える理由をしっかりと説明する。
動物園があるから、子どもたちは人間とは違う動物がいることを知る。絵本でしか見たことのない動物を見て、素直な驚きを覚える。キリンを見て、その首の長さに驚き、ライオンを見て、その強そうな体に驚く。パンダを見て、そのかわいらしさを知る。触れ合いのできる動物園も多い。動物と触れ合うことで、生命の大事さを知ることができる。自然を守ることの大事さも知ることができる。このようにして、子どもは人間と動物の関係の深さを知り、ともに生きることの大事さを知るのである。動物園がなくなったら、子どもが人間以外の生物に出会う機会がなくなり、都市に暮らす人は人工的なものに囲まれて生きることになるのである。

4 第1部 1 で書いた「動物園はよいところなのか、残すべきなのか」という問題提起に対し、最後にもう一度自分の意見を述べる。
以上述べた通り、私は動物園はよいものなので、これからも残すべきだと考える。